

フリガナ	ツチヤ	ヨウコ	
氏名	土屋	陽子	
所属	留学生別科		
職名	専任講師		
最終学歴	日本大学大学院総合社会情報研究科 文化情報専攻(言語教育研究コース) 博士前期課程 修了		
主な経歴・職歴	朝日新聞社西部本社 大分支局記者・中津通信局長 NHK大分放送局 ニュースキャスター 日経ホーム出版社『日経WOMAN』編集部 編集記者 常葉大学 非常勤講師 国際ことば学院外国語専門学校 非常勤講師 ANS日本語学院 非常勤講師 嶺南師範学院日本語科(中国広東省) 専任講師		
研究分野	日本語教育/キャリア教育		
所属学会	小出記念日本語教育学会		
担当科目	文字・会話1・聴解・会話2		
研究業績等 (直近5カ年)	<p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「就職活動用日本語自己PR文の内容分析—外国人留学生と日本人学生の比較から—」『日本大学電子紀要』Vol.25, No.1, pp.73-84. (2024) <p>【学会発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「就職活動用日本語自己PR文の内容分析—外国人留学生と日本人学生の比較から—」第32回小出記念日本語教育学会 (発表要旨:『第32回小出記念日本語教育学会年次大会予稿集』pp.20-23.) (2023) <p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『キャリア開発論』単著 ・『ソーシャルスキル』単著 		
社会活動 (直近5カ年)	焼津市外国人児童生徒支援員 焼津市地域日本語指導員		
学生へのメッセージ			
<p>「対話」を何よりも大切にし、私自身も「対話」することが好きです。これまでNHKニュースキャスター、新聞記者、中国広東省の大学の専任講師などとして様々な方と会い、コミュニケーションを積み重ねてきました。異なる立場や習慣、考えを持つ「異文化」の相手から何を学び、どのように折り合いをつけていくか——「慈悲の心」を持ち、相手と丁寧に「対話」できる、懐の深い国際人の育成を目指しています。日本語そのものはもちろん、なぜそのような表現が必要になるのか、その背景にある日本文化も併せてお伝えします。特にビジネス日本語やビジネスマナーを教えることを得意としており、NHKの標準語で話します。</p> <p>また、私は「登録日本語教員」(国家資格)に加え、「国家資格キャリアコンサルタント」も保有しており、日本の大学でキャリア教育にも長く携わってきました。キャリアに関する相談も可能です。</p> <p>皆さん、ぜひたくさんお話しましょう。</p>			